

2023 年度同時通訳集中講座(通算 30 回) 講師紹介

【学内講師】

◆ 城間 仙子 (しろま せんこ)

沖縄キリスト教学院大学教授。本学の科目「同時通訳 I / II」「通訳とプレゼンテーション」「同時通訳実践演習」「非暴力コミュニケーション技法」等担当。「通訳される側」と「通訳を聴く側」の双方にとって最良の通訳を目指すための教育は、本学のピースメーカー育成の理念を具現化するものである、という信念を持ち教育活動を実践中。

◆ 柳田 正豪 (やなぎだ しょうごう)

沖縄キリスト教短期大学准教授。1993 年度と 1996 年度の「同時通訳者養成講座」を受講。メリーランド大学院在学中に通訳関係の仕事始める。2003 年度から那覇地方裁判所法廷通訳人として活躍。学外通訳: The 11th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine (2004 年)、The 18th World Congress on Psychosomatic Medicine (2005 年)、支援者のための非暴力ワークショップ in Okinawa (2008 年)、国立台湾医学部精神部・琉球大学医学部精神衛生学交流研究会 (2004 年から 2010 年まで)

◆ 比嘉 麻莉奈 (ひが まりな)

沖縄キリスト教短期大学特任講師、沖縄大学非常勤講師。2012 年、第 6 回太平洋・島サミットにおいてソロモン諸島首相夫人(当時)の通訳を務めた。現在、沖縄大学で「英語通訳入門」を担当しながら、沖縄キリスト教学院で開催される国際会議や講演会の同時通訳の一端を担っている。

【特任講師】

◆ 玉城 弘子 (たまき ひろこ)

フリーランス通訳・翻訳者。東京で 2 年通訳・翻訳を学んだ後、沖縄県庁に嘱託通訳・翻訳官として勤務。その後英国のバース大学大学院に留学し日英通訳・翻訳の修士号取得。帰国後はフリーランス通訳・翻訳者として、講演会、セミナー、シンポジウム、国際会議などの同時・逐次通訳、および法廷通訳を行っている。これまで扱った分野は、音楽、芸術、医学、生物・科学、植物、国際政治、安全保障、基地問題、軍事、教育、環境、自然エネルギー、機械、電気、観光など。

◆ 宮國 薫子 (みやくに かおるこ)

Ph.D. (Park, Recreation, Tourism)琉球大学学長補佐(広報)、琉球大学国際地域創造学部(経営プログラム)准教授。「まちづくり地域興し論」、「観光情報論」等の科目を担当。(2007~現在)。沖縄キリスト教短期大学助教授として「同時通訳講座(夏期講習・公開講座)」、「マルチメディア演習」「観光概論」等の科目を担当 1997~2003)。「月曜礼拝」、「地雷撤去の国際会議」の同時通訳を沖縄キリスト教学院大学内で行った。学外では、「ジュビリー2000 途上国重債務帳消し運動—世界の貧困と私たち(国際会議)」、「The Destruction and Healing of the Earth: Ecological Theology by Moltman」の同時通訳を行った

【講演】

◆ 仲里 真由美 (なかざと まゆみ)

2014 年沖縄キリスト教学院大学を卒業後、沖縄県内の米軍基地内でグランドスタッフ、医療事務、Business Operation Administrative assistant として携わった後、2017 年に渡米。同年に日系自動車サプライヤー会社にて社長秘書兼通訳・翻訳者として勤務。その後 Honda Development and Manufacturing of America (HDMA)に転職し通訳・翻訳者として活躍。2023 年 4 月に故郷である沖縄県へ戻りこれから県内外でフリーランス通訳・翻訳者として行動の幅を広げていく予定。これまで扱った分野は、コーポレート・ガバナンス関連書類の翻訳、監査準備、報告会会議同時通訳、エグゼクティブ会議人事部((HR)、品質保証部(QA・QC)、エンジニアリング、会計、製造部、ES(保安)部、生産計画部(PC)における各報告会議(月次報告、トップマネジメント会議、機密会議、取引先にて会議、日米リモート同時通訳・資料翻訳など。